

旧東海道青島地区コース

JR東海道本線の周囲の旧東海道にて、染飯茶屋の歴史や喜久酔の魅力について触れるコース。

①青島南公民館 → ②青島中学校 → ③下青島踏切 → ④六地藏(ここから旧東海道) → ⑤千貫堤・瀬戸の染飯茶屋跡(版木) → ⑥青島酒造(喜久酔) → ⑦岩城神社(岩城山緑地) → ⑧青島南公民館

⑤ 千貫堤・瀬戸の染飯茶屋跡(版木)

江戸時代、この辺りの立場(林隠所)で売られていたのが染飯でした。染飯とはクチナシの突で染めた煮飯をつがして小判型にしたものでクチナシは足摩りよというので、旅人に人気があったそうです。現在そのお店はありませんがその包み紙に押し込んだ版木が残されています。

染飯で使ったクチナシにはそんな効果があったんだね〜カシツ☆

東海道筋の由緒ある歴史の地。東海道を救った著名な人たちがここに立ち寄り祈願されたとか。

④ 六地藏(ここから旧東海道)

ちょっとした階段を上がると、飯糰とアランチがあるよ!

1枚の石にも人のお地蔵様がならぶ。この裏には顔なしのお地蔵様が並んでいます。

周りに民衆が並びます。

歩道が狭いので、車に注意!

⑦ 岩城神社(岩城山緑地)

鳥居に入る手前にすべり台、アランチ、アスレチックがあります。少し進んでいこう!上から下りる時は、急な階段です。気をつけて!細い道をぬければ来た道に出ますよ。

広場がありよくゲートボールなど行われています。

線路の横をまっすぐ!すぐ横を電車が走ります。カメラ小僧になって写真を撮ってみましょう!



東海道で22番目の織枝相と、島田相の中間に位置する青島酒造。蔵の歴史は古く、創業は江戸時代中期とされている。普通酒から大吟醸までお好み合う喜久酔を作っています。「喜び久しく酔える酒」という意味から「喜久酔」と命名されたそうです。

■コースデータ

距離/約5km 所要時間/約1時間30分 消費カロリー/約312kcal 途中休憩場所、トイレあり

■青島南公民館へのアクセス

バス/JR 藤枝駅より藤枝駅南西門線(西ルート)に乗り、「青島南公民館入口」下車、徒歩3分。
車/瀬戸の踏切より南へ直進5分、バス停を左へ入る。

ウォーキングアドバイス

藤枝駅前の喜久酔で(12コース参照)染飯を買ってからこちらのコースを歩いてみて、昔の旅人の気持ちを味わってみてはいかがでしょうか?

お手洗いが少ないので先に済ませておきましょう!



① START
⑧ GOAL



※これは、イラストです。あくまでもイメージ図なので、実際の距離とは異なります。また、消費カロリーも年齢や性別、体格により異なります。目安としてお使い下さい。